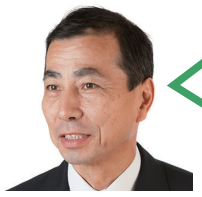
第三回定例会 本会議 一般質問（9月14日～16日）

「危機管理体制について」

世田谷区においても、水害や土砂災害において区民の生命と財産を守るためには、警戒避難体制の整備などのソフト面での対策を着実に推進していくことが必要となってきました。そのための適時・適切に区民の避難行動を促すためには、避難勧告等の判断基準をしっかり定め、なおかつ正確に区民に伝達することが大変重要であります。



QUESTION

避難情報を得る有力な手段のひとつとして、区の防災無線がありますが、聞き取りづらいという声をよく聞きます。防災無線が聞き取りづらい状況、特に区界地域での対策や、高齢者世帯への対策について伺います。

ANSWER

区としましては、洪水予報や土砂災害に関する情報などの防災気象情報を正確に把握し、避難に関する情報を多様な手段でお伝えするなど区民が避難行動を適時適切に取れるように警戒避難体制を構築してまいります。また避難準備情報については、避難に時間がかかる避難行動要支援者は避難を開始する情報でもあることから、よりわかりやすい周知に努めてまいります。

危機管理室長



道路用地取得が遅れている奥沢駅前の区道

「道路用地の取得について」

今年の区民意識調査では、＜地域における日常生活での困りごと＞の１位は１０年連続で「道路が狭くて危険」となりました。都市の重要な基盤である道路については、都市計画道路だけでなく区民の日々の生活を支える地先道路まで、それぞれの役割をしっかり果たせるように区はその整備に取り組んでいると認識しております。しかし用地の取得交渉が長年に渡り難航する等なかなか事業が進捗しない実態も見受けられます。そこで区は用地買収交渉への外部委託の活用をあげ、今後取り組みを強化したいとしています。





QUESTION

外部委託については、間違っても「受託者まかせ」にならないことが重要であると考えます。区はどのような考えで取り組み、また受託事業者の指導を行っているのか、伺います。

ANSWER

区の事業にご協力をいただくには、まず、各事業について地権者の皆様のご理解をいただくことが何より肝心でございます。今後も、外部委託の活用など、より効果的に事業を推進すると同時に、区として、地権者の皆様に対する丁寧な説明と対応を大切に、事業に取り組んでまいります。

道路・交通政策部長

第三回 区議会定例会 決算特別委員会 都市整備質疑（9月29日～10月13日）

「電線地中化の推進について」

東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて都内各地でいろいろな基盤整備が進むことが期待されます。世田谷区においても会場となる馬事公苑周辺などを中心に道路整備などが計画されています。



自由通り奥沢駅北口　電柱がすれ違いの妨げとなります



QUESTION

幹線道路はもちろん、駅前や駅周辺の道路など人通りが多く賑わいのある場所にも、防災や都市景観の向上という観点から無電柱化は積極的に進めるべきと考えますが、如何でしょうか。

ANSWER

駅前広場整備など地域によって進んでいますが、用地取得が進んで歩道整備などがあれば、ぜひそのタイミングに合わせて積極的に推進してまいります。

土木部長



年２回の地区古布回収。
毎回、私と軽トラの出番です。

世田谷区議会議員

和田ひでとし通信 第十六号

区政レポート

ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

平成二十九年は世界情勢も国内情勢も激動の年を予感させる年明けとなりました。

課題山積の世田谷区政において、**いま何が**最優先か、そして**未来に向かって何を**優先させるべきかをしっかりと見据え、地域・地区のために皆様とともに前進してまいりたいと思います。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

久々の山歩き



１０月３０日、中の大倉尾根より赤面山方面を望む

紅葉が終わった那須に初雪がきました。まるで雪の花が満開のようです。何か月も前から予定した当日は天気に恵まれ、三本槍岳・朝日岳を登ってきました。寒かったですが、３６０度の素晴らしい展望と「雪の花」そして帰りの温泉は最高でした。

今後の予定

- **世田谷区議会 第１回定例会**
  ２月 22 日～３月 28 日
  （期間中 予算特別委員会）
- **和田ひでとし後援会「新春のつどい」**
  平成 29 年２月 11 日　11 時 30 分 より
  二子玉川エクセルホテル東急 にて

インターネットで「和田ひでとし」と検索してください！

和田ひでとし　検索

あなたのご意見をお聞かせください！

info@wadahidetoshi.com

2017 年 1 月 発行　世田谷区議会議員 和田秀壽　〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 1-40-2　TEL 03-3720-3542　FAX 03-3720-6928

第４回 区議会定例会 本会議 一般質問 （11月28日～30日）

「保育待機児対策について」



世田谷区でナンバー１といえば「保育待機児数」といわれるようになってしまいました。区長は世田谷区のリーダーとして、必要であれば直接周辺住民に理解を求めるなど、保育施設整備計画を確実に進めなければなりません。



QUESTION

改めて保育待機児童解消へ向けての区長の本気度を伺います。

ANSWER



世田谷区長

自治体の長として待機児童問題に取り組む「本気度」は戦略的に発揮すべきだと考えています。第一に国有財産処分に関し財務省と交渉、大幅な土地提供を引き出すこと。第二に民有地で保育園用地が不足している状況に対し、区独自の補助制度を実現、専門のスタッフを置いて、結果、現在約６８０件もの土地や建物の提供の相談を受け、２４園開園、２４園準備中の環境をつくりだしたこと。第三に都に対し、保育園が開園可能な都有地の早期提供を求めると共に保育室や土地賃借料などの補助制度の充実を求めてきたこと。第四に今後の保育需要を見すえて、厚生労働省に新たな「働き方・育て方」の提案を行い国、産業レベルの方向転換を促すこと。私の現場は、政治的タイミングを逃さず、国、都、民間企業に政策提案をして、これを実現することにあります。



近隣住民より「交通環境問題の観点から、面する道路が狭く、大型の保育施設は危険ではないか」と指摘を受けている玉川田園調布二丁目の建設予定地（奥が環八通り）。二十九年四月、開園予定です。



QUESTION

新たに開園した保育園に対し、近隣の方々よりいろいろなご意見をいただくことが考えられます。そのようなことを想定して着工し、開園してからも運営事業者に対して、区はしっかりフォローしながら、近隣との良好な関係を作っていかなければなりません。改めて区の見解を伺います。

ANSWER



世田谷区長

区といたしましては、保育園の整備について反対のご意見がある計画地においても、保育園の入園を待ち望む多くの方々の声に応えるためには、保育園の整備は必要だと考えております。そのため、保育園の整備を前提として、整備・運営事業者とともに、近隣の方々の懸念や不安に対して、ご意見・ご要望をしっかりとお聞きし、できる限りの対策を講じていくことを丁寧に説明してまいります。
また、開園後の運営等に対するご意見・ご要望につきましては、まずは運営事業者が責任を持って対応することとなりますが、区といたしましても、保育園が近隣の方々との良好な関係を築き、長年にわたって地域の皆様に支えられて運営できるよう、事業者を指導・支援してまいります。

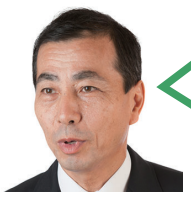


保育待機児対策については「子ども子育て応援都市宣言」を掲げた世田谷区の喫緊の課題であります。新たな保育園整備と保育の質の確保、そして周辺住民の方々との良好な関係作りのために、区長の本気度が空回りしないよう注視してまいります。

「道徳の教科化と家庭教育」

いじめ事件が後を絶たず、深刻な社会現象となっています。３．１１東日本大震災による福島第一原発事故によって避難生活を余儀なくされている少年が、つらいいじめを受けていたことを取り上げたニュースは、本当にショッキングであり、また現代のいじめ問題の世相を如実に表した出来事かもしれません。
これも人を思いやる心の欠如といってしまえばそれまでですが、子どものころからの道徳的な教育の重要性が問われているのではないでしょうか。道徳の教科化はまさに家庭教育との両輪でなければなりませんし、いうまでもなく学校・家庭・地域の連携は不可欠です。





QUESTION

平成３０年度より道徳が教科化される予定ですが、教育委員会はどのように道徳の教科化と家庭教育の両輪としての推進を進めていこうとしているのか、見解を伺います。

ANSWER



教育政策部長

道徳教育は学校が全教育活動を通じて行い、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標としており、家庭・地域の理解と連携が重要です。
教育委員会といたしましては、「特別の教科　道徳」の確実な実施を進めるとともに、道徳教育について新しい取組を積極的に保護者・地域に伝えることで、家庭教育の充実と家庭との連携を図ってまいります。

「スポーツ振興に関する区内大学との連携」

現在、区内では慢性的にスポーツ施設が足りていない現状がある中で、新たな施設整備は容易ではありません。特に、野球場やサッカー場など子どもたちに人気のあるスポーツの場の確保ですが、どうにか地元の小中学校をお借りしてのやりくりなどで練習をしているところも多いようです。しかし、試合の消化には大変苦労をしている現状があります。さらに硬式野球のできるグランドは限られ、高校野球やプロを目指す夢を持った子供たちには厳しい現状があると聞きました。





QUESTION

２０２０東京大会を契機として区内大学の施設の提供やスポーツなどの交流による世田谷区との連携などもさらに強化すべきと考えますが、区の見解を伺います。

ANSWER



スポーツ推進担当部長

２０２０東京大会を契機に区民のスポーツに対する気運が高まっており、９０万区民の幅広いスポーツ需要に応えるためには、スポーツの場の確保やお話の大学との連携は重要な課題であると認識しております。
今後施設の提供や学生との交流など、具体的にスポーツ推進をはじめ幅広く積極的に連携及び協力のお願いをしてまいります。



土曜日の午後、野球部が部活中の奥沢中学校グランド。午前中はテニス部と小学生サッカーが半分ずつ使用、日曜日は少年野球と地域のサッカーチームが交互に使用しています。